

令和4年度(第36期)

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

事業報告書

一般財団法人 黒部市施設管理公社

I 公社全般

1. 総括

当公社の令和4年度事業運営は、前年度と同様、市民会館をはじめとする7施設の指定管理業務と宇奈月温泉スキー場の受託事業業務であり、指定管理業務は、指定管理者として5年間にわたる指定管理期間のうち4年目の管理運営を担ったものです。

まず、指定管理7施設全体の事業収支決算では、指定管理修繕費及び補助金の返還額1,044,728円を差し引いて2,563,420円の黒字決算となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の長期化に伴う生活様式の変化や行動自粛意識が未だ抜け切らないことなどから、事業運営の柱と言える施設利用面においては伸び悩み、7施設全体では前年度を下回る結果となりました。

具体的に見ますと、令和4年度総利用者数は156,791人で、対前年度比10,381人の減となっており、施設別では、「中央児童センター」、「宮野運動公園」及び「ふれあいハウス宮野」の3施設で増、その他の4施設で減の状況でした。また、今回の総利用者数をコロナ禍以前の平年ベースと比較しますと、7割程度に止まる現状にあります。

一方で、施設の利用料収入については、令和4年度総額が6,015,968円で、対前年度比1,094,966円の増となりました。これは、コロナ禍にあっても、テニスコートの利用が顕著であった「宮野運動公園」において大きく伸びたほか、「ふれあいハウス宮野」においても前年度に比べると回復傾向と言える利用があったことによるものです。

ここで、現状の課題を少し整理しますと、まずは各施設の経年劣化が挙げられます。特に、利用者の一番多い宮野運動公園においては、これまで計画的に改修が行われてきたところですが、各競技の大会会場ともなる野球場、陸上競技場、多目的広場などには更なる抜本的な改修が求められており、他の指定管理施設とともに、市に対する要望を継続しつつ、安全・安心の確保と利便性の向上を図っていく必要があります。

また、「市民会館」と「働く婦人の家」が令和5年9月末をもって閉館し、10月上旬に開館予定の「くろべ市民交流センター」に機能移転となります。公社本部自体も新センターへ移転となりますが、これまでの両施設利用者の皆様が引き続き新センターを利用いただくよう周知PRに努めるとともに、新センター貸館部門の受付等受託業務など、当公社に求められる役割をしっかりと果たしていく必要があります。

さらに、当公社が平成25年に一般財団法人へ移行した際に作成した公益目的支出計画は対象事業である「市民会館」が今後閉館となることから、計画自体の見直し・変更について富山県と十分協議を重ね対処していく必要があります。

次に、受託事業として担った宇奈月温泉スキー場においては、積雪不足により、今シーズンの営業日数が31日間、利用者数は5,147人に止まり、対前年度比6,890人の減、また、目標設定の7,500人を下回りました。市におかれては、当面継続運営を決定されていますが、リフトやトイレなど、運営に必要な不可欠な施設等の改修についての具体策を市に求めつつ、協議を重ねていく必要があります。

最後に、今後もコロナ感染症の状況を注視のうえ必要な対策を継続しつつ、指定管理者としての自覚を持って、安全・安心かつ利用者に親しまれる施設として、また、委託者からも信頼される受託者として、適切な施設管理と経費の徹底した縮減等に努め、健全な事業運営に取り組んでまいります。

2. 利用状況

令和4年度の総利用者数は156,791人で、前年度比較10,381人の減少となりました。下表のとおり、7施設のうち、3施設で増加、4施設で減少しており、それぞれの増減理由については、各施設事業報告に記載しています。

(単位:人)

施設名	利用者数		増減
	令和4年度	令和3年度	
黒部市民会館	44,992	61,377	△16,385
働く婦人の家	5,245	5,419	△174
東部児童センター	10,641	12,169	△1,528
三日市体育センター	18,703	19,102	△399
中央児童センター	13,176	13,001	175
宮野運動公園	63,229	55,802	7,427
ふれあいハウス宮野	805	302	503
計	156,791	167,172	△10,381

3. 収支状況

新型コロナウイルス感染対策を可能な限り講じるとともに、執行状況に留意しつつ経費節減に努めた結果、2,563,420円の黒字決算となりました。

(単位:円)

施設名	事業収支額		増減
	令和4年度	令和3年度	
公社本部(一般管理)	814,889	5,397,054	△4,582,165
黒部市民会館	△352,550	△212,434	△140,116
働く婦人の家	664,348	609,121	55,227
東部児童センター	256,220	1,107,296	△851,076
中央児童センター	206,869	2,109,865	△1,902,996
宮野運動公園	1,370,219	879,871	490,348
ふれあいハウス宮野	648,153	427,662	220,491
事業収支額計	3,608,148	10,318,435	△6,710,287
返還金	△1,044,728	△7,018,521	5,973,793
合計	2,563,420	3,299,914	△736,494

※事業収支額＝収入(補助金＋指定管理料＋施設利用料等)－支出額

4. 施設利用料の収入状況

令和4年度の総施設利用料は6,015,968円で、予算額に対する達成率は84.9%であったものの、対前年比では額で1,094,966円の増加、率で22.3%の増加となりました。

(単位:円,%)

施設名	令和4年度施設利用料			令和3年度施設利用料		
	予算	実績	達成率	予算	実績	達成率
黒部市民会館	3,544,000	2,694,750	76.0	3,544,000	2,529,860	71.4
働く婦人の家	350,000	180,300	51.5	350,000	225,915	64.5
勤労者体育センター	10,000	0	0	10,000	0	0.0
宮野運動公園	2,020,000	2,313,018	114.5	2,020,000	1,840,417	91.1
ふれあいハウス宮野	1,160,000	827,900	71.4	1,160,000	324,810	28.0
計	7,084,000	6,015,968	84.9	7,084,000	4,921,002	69.5

II 各施設事業報告

1. 黒部市民会館

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	354日	354日	—
利用料収入	2,694,750円	2,529,860円	164,890円
利用者数	44,992人	61,377人	△16,385人

前年度と比較し、利用者数では、16,385人(△26.7%)の減少、利用件数では、77件(11.6%)の増加、利用料収入では、164,890円(6.5%)の増収となりました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、特に年度の前半においては、利用の縮小やキャンセルが相次いだ期間があるなど、利用者数全体において前年度を下回る結果となりました。なお、前年度比較における利用者数減の要因としては、新型コロナウイルスワクチン接種会場としての利用回数の減少や、三日市地区の投票会場となる選挙の執行回数が大きく影響しています。

一方で、利用料収入が増収となった要因としては、利用件数の増加に伴うもので、特に、市内に新規出店する複数の会社説明会及び面接会場として長期にわたる利用があったことが挙げられます。

(2) 管理状況

改修・修繕等経費

市直営により、会館周辺の樹木剪定が行われたほか、指定管理修繕料で、外部ポーチモルタル工事、冷房設備の井戸ポンプフロートレス修繕、外灯修繕、凍結による屋上タンクの配管の漏水修理を行いました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

12月1日から翌年1月12日までの間、「ヨガ教室」を全6回開催し、延べ91名の参加があり、大変好評で次回開催を望む声が聞かれました。また、10月11日から31日にかけて、ロビーにおいて「黒部短歌会作品展示会」を行い、施設の有効活用に努めました。

②広報活動

「公社ホームページ」、「広報くろべ」、「まいぷれ黒部」、「ニコニコタウン」などを活用し、施設利用のPRに努めました。

(4)課題

- ①新型コロナウイルス感染症など、状況に応じた予防対策の継続化
- ②施設の老朽化に対する適切な維持管理
- ③機能移転する「くろべ市民交流センター」への円滑な利用者移行に向けた周知PR

区分別利用回数			
区分	令4	令3	増減
一般利用 (基本料金)	165	113	52
市・県利用 (5・3・2割減)	300	321	△21
市 内			
営利 (3割増)	54	10	44
物販 (10割増)	2	8	△6
市 外			
営利 (5割増)	92	76	16
物販 (15割増)	45	50	△5
営利目的講習 (10割増)	26	28	△2
その他	56	57	△1
計	740	663	77

部屋別利用回数(上段)・人数(下段)			
部屋	令4	令3	増減
大ホール	7 1,954	0 0	7 1,954
101会議室	155 16,600	158 19,834	△3 △3,234
102会議室	153 12,269	145 23,137	8 △10,868
103会議室	123 4,693	95 6,805	28 △2,112
201会議室	79 1,469	70 1,382	9 87
202会議室	81 634	90 612	△9 22
203会議室	119 933	70 549	49 384
その他	23 6,440	35 9,058	△12 △2,618
計	740 44,992	663 61,377	77 △16,385

2. 黒部市働く婦人の家

(1)利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	291日	289日	2日
利用料収入	180,300円	225,915円	△45,615円
利用者数	5,245人	5,419人	△174人

前年度と比較し、利用者数では、174人（△3.2%）の減少、利用件数では、17回（△2.7%）の減少、利用料収入では、45,615円（△20.2%）の減収となりました。

本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたところですが、特に、長引くコロナ禍で活動意欲の衰退により自主グループの利用が大きく減少したほか、指導者の高齢化により年間利用を取りやめたことなどが主な要因と考えられます。

区分別の利用回数(上段)・人数(下段)			
区 分	令4	令3	増減
主催講座	6	8	△2
	60	104	△44
育成グループ	430	414	16
	3,415	3,452	△37
自主グループ	42	103	△61
	143	431	△288
女性団体	9	18	△9
	80	259	△179
その他	132	93	39
	1,407	1,011	396
図 書			
	140	162	△22
計	619	636	△17
	5,245	5,419	△174

部屋別の利用回数(上段)・人数(下段)			
部 屋	令4	令3	増減
調理室	17	6	11
	192	44	148
和 室	97	85	12
	533	525	8
会議室	155	177	△22
	808	810	△2
軽運動場	253	239	14
	2,856	2,918	△62
研修室	97	129	△32
	716	960	△244
図 書			
	140	162	△22
計	619	636	△17
	5,245	5,419	△174

(2) 管理状況

改修・修繕等経費

指定管理修繕料で、館西側の樹木生け垣の剪定を行いました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

「初心者バランスボール教室」と「ちりめん干支小物（うさぎ）作り」を内容とする主催2講座(6回)を開催し、参加延べ人数は60人でした。使用する運動用具や机の消毒を使用前後行いつつ、3密回避を徹底のうえ実施し、「初心者バランスボール」は講座終了後グループとなり、年間利用の継続活動を行っています。

② 広報活動

「公社ホームページ」、「広報くろべ」、「まいふれ黒部」、「ニコニコタウン」への掲載により、施設利用に関する情報発信に努めました。

(4) 課題

①利用者数減少を抑えるため、新規グループの開設と育成及び指導者の発掘

②機能移転する「くろべ市民交流センター」への円滑な利用者移行に向けた周知PR

3-1. 黒部市立東部児童センター

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	291日	259日	32日
利用者数	10,641人	12,169人	△1,528人
児童	5,363人	5,264人	99人
幼児	1,956人	2,143人	△187人
保護者	3,322人	4,762人	△1,440人

前年度と比較し、利用者数では、1,528人（△12.5%）の減少となりました。

前年度、一部期間利用休止となった8月、9月及び一部の行事中止期間となった2月、3月は、本年度において増加したものの、市内小学校や保育所等でのコロナ感染に伴い、学年・学級閉鎖が相次ぐなど、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けたことによるものです。

(2) 管理状況

① 改修・修繕等経費

市直営工事により、1階遊戯室及び集会室の空調設備設置工事、1・2階トイレ便器洋式化工事、踊り場壁改修工事が行われたほか、指定管理修繕料で、ドアクローザー交換（図書室・事務室）、アルミ枠ホワイトボード設置、児童用一輪車パンク修繕を行いました。

② その他

施設設備や遊具等の点検を徹底し、破損や劣化箇所の補修に努めました。また、三日市健朗会の皆様による草刈りのご協力をいただきました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

「折り紙DAY」では、隔月で季節を感じさせるものを折り、壁掛け等に仕上げて家で飾りましたが、子ども達には、指先を使って遊ぶ減多にない良い機会となりました。

「おもちゃ病院&東部児童センターコラボ企画～手作りおもちゃリニアモーターカー～」では、電池の電力とネオジム磁石を利用して、リニアモーターカーの原理で走るおもちゃを製作しました。子ども達は、おもちゃ病院スタッフと有意義な時間を過ごしながら動くおもちゃに感動し、また参加したいという声が多数聞かれるなど好評でした。

『中央児童センターとの合同行事』

本年度も「合同児童センター祭り」の実施は見送りましたが、9月には、「(東部・中央合同)広場で遊ぼう！」を中央児童センターで開催しました。天候にも恵まれ、チャレンジランキングとドッジボールで体を動かしながら両児童センターの児童の交流が図られました。

また、12月には、「移動児童館(東部・中央合同)クリスマス会」を市民会館で開催しました。県内の演奏家による迫力ある生演奏を間近で鑑賞する良い機会になるとともに、その後の工作、お絵かきぬり絵、ビンゴ大会等への参加により、子ども達は楽しくクリスマス気分を味わいました。

②広報活動

「まいぷれ黒部」で毎月のイベント情報の更新や報告などを掲載し、魅力あるホームページにするよう努めるとともに、「ニコニコタウン」や「ラジオミュー」などのメディアを活用してPRに努めました。また、「広報くろべ」の“子育て支援”のページに毎月の行事を掲載するなど、広く市民に周知しました。

(4)課題

- ①新型コロナウイルスなどの感染予防対策と今後の行事のあり方
- ②地域の方との交流
- ③子ども達の安心・安全対策

3-2. 黒部市三日市体育センター

(1)利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	291日	259日	32日
利用料収入	0円	0円	—
利用者数	18,703人	19,102人	△399人
利用回数	643回	532回	111回

前年度と比較し、利用者数では、399人（△2.1%）の減少、団体利用件数では、111回（20.9%）の増加となりました。

利用者数減少の要因は、東部児童センターの利用者数が1,528人減少したことによるものであり、三日市体育センターのみの利用（児童・未就学児以外）に関しては、コロナ禍の影響は、特に見受けられなかったと言えます。

(2)管理状況

①改修・修繕等

指定管理修繕料で、ドアクローザー交換（器具室・女子更衣室）、体育室出入口前アルミハンガー戸修繕、多目的球技場照明器具修繕を行いました。

②その他

施設設備や遊具の点検を徹底し、破損や劣化箇所の補修に努めました。

(3)運営状況

①自主事業等

利用者の要望に応じて、「～健康維持～ストレッチ体操（2回コース）」を前年度に引き続き実施し、好評を得ました。

②広報活動

「まいぷれ黒部」での自主事業の情報更新やポスター掲示など、PRに努めました。

(4)課題

- ①継続して参加しやすい実施日の調整（パワーヨガ教室・自主事業）
- ②施設の老朽化に対する適切な維持管理
- ③利用者のニーズに応じたサービス向上

4. 黒部市立中央児童センター

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	291日	259日	32日
利用者数	13,176人	13,001人	175人
児童	6,304人	5,242人	1,062人
幼児	1,803人	3,125人	△1,322人
保護者	5,069人	4,634人	435人

前年度と比較し、利用者数では、175人（1.3%）の増加となりました。

若干増加となった要因としては、前年度のように新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館することがなかったことが挙げられますが、一方で、一日平均利用者数を見ますと、前年度50名から今年度45名と減少しています。その主な要因として、前年度は大布施認定こども園が新園舎工事により園庭が使えず、園児が頻繁に当センターを利用されていましたが、今年度は完成に伴いほとんど利用されなかったことによります。

(2) 管理状況

① 改修・修繕等

市直営により、庭木危険個所の剪定・伐採、屋外フェンス改修工事及び男子トイレ便器洋式化工事が行われたほか、指定管理修繕料で、研修室エアコン室外機漏電修理、玄関誘導灯バッテリー交換、図書室4カ所・集会室2カ所・事務所1カ所の照明設備LED化、強風の影響で折れた樹木の除去作業等を行いました。

② その他

施設設備や遊具の点検を徹底し、定期的な屋外整備（草刈り、落葉及び老木化による枝折れの処理）や屋上清掃を行い、環境美化や安全性の向上に努めました。また、大布施公民館による草刈りのご協力をいただきました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

広場いっぱい自前でライン（ケンケンパーコースや波線、野球やドッジボール、テニス用のグラウンドやコートライン）を描き、遊びの環境づくりに取り組んだところ日常の遊びや行事・イベントなど様々な場面で大いに活用されるなど、子どもから大人まで大変喜ばれました。また、引き続き中央小学校の下校後直接来館する児童の受け入れや幼児親子対象「親子あそびの広場」を実施し、子育て支援に努めました。

『東部児童センターとの合同行事』

（P6「東部児童センター」での記載と同様）

② 広報活動

（P7「東部児童センター」での記載と同様）

(4) 課題

- ① 日常の遊び意欲を高める環境づくりと魅力ある遊びのプログラム考案
- ② 子ども達の安心・安全対策
- ③ 新型コロナウイルスなどの感染症予防対策と施設・遊具等の老朽化対策

5. 宮野運動公園管理事務所

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	359日	333日	26日
利用料収入	2,313,018円	1,840,417円	472,601円
利用者数	63,229人	55,802人	7,427人

前年度と比較し、利用者数では、7,427人（13.3%）の増加、利用料収入では、472,601円（25.7%）の増収となりました。

利用者数がやや大きく増えた要因としては、前年度のように新型コロナウイルス感染拡大により臨時休館することがなかったことに加え、人工芝全9面が整備されたテニスコートの利用増が顕著であったほか、運動芝生広場の利用増によるものです。

利用料収入の増収につきましては、体育館、テニスコート、多目的グラウンドで増収となったほか、大口である富山サンダーバーズの試合数増が要因として挙げられます。

施設別利用回数(上段)・人数(下段)			
施設名	令和4年度	令和3年度	増減
体育館	861	817	44
	9,096	8,397	699
野球場	114	116	△2
	13,860	13,790	70
テニスコート	1,473	1,109	364
	9,470	6,909	2,561
多目的グラウンド	177	109	68
	6,323	5,208	1,115
陸上競技場	221	251	△30
	3,882	4,202	△320
運動芝生広場	1	0	1
	20,598	17,296	3,302
計	2,847	2,402	445
	63,229	55,802	7,427

(2) 管理状況

- ① 改修・修繕等

市の直営により、宮野橋補修工事、墓地公園駐車場外灯撤去工事、遊戯施設撤去工事、体育館照明安定器更新工事、野球場本部室エアコン設置工事及び公園トイレ便器洋式化工事(4カ所)など多くの改修工事が行われました。

指定管理修繕料では、野球場の漏水修理、外灯照明LED化工事、作業機械修繕、野球場エアコン漏水修繕、体育館水銀灯ランプ交換等を行いました。

②その他

猿や猪等の有害鳥獣の出没が多く、市と相談の上、罠を設置いただいたほか、マイマイガの大量発生対策として成虫期の殺虫剤散布に努めるとともに、事務所周辺外灯をLEDに更新しました。

(3) 運営状況

①自主事業等

ふれあいハウス宮野と連携し、野球場で高校野球県外実力校の試合を行いました。

②広報活動

公社ホームページや「黒部カタログ」を通じ施設のPRに努めました。

(4) 課題

①利用者ニーズに応じたサービスの向上

②施設や機械全般の老朽化対策と社会情勢の変化に伴う物価等高騰対策

③陸上競技場走路及び多目的グラウンドの抜本的な土の入替

④野球場スタンドのコンクリート剥離対策

⑤園内芝地の水はけ対策及び草地斜面の湧水対策

⑥猿や猪等有害鳥獣の園内侵入及び被害対策

⑦作業員の確保

6. 黒部市ふれあいハウス宮野

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	増減
開館日数	336日	301日	35日
利用料収入	827,900円	324,810円	503,090円
利用者数	805人	302人	503人

前年度と比較し、利用者数では、503人(166.6%)の増加、利用料収入では、503,090円(154.9%)の増収と大きく伸びる結果となりました。

上半期においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により利用状況は伸び悩んでいましたが、その後、全国的な感染者の減少や規制緩和が進むに連れ回復傾向が見られるようになりました。また、当施設館長の人脈を活かした誘致活動が宿泊利用の一定割合を占めるなど、成果を上げています。

(2) 管理状況

① 改修・修繕等

市の直営工事により、2階男女トイレ便器洋式化工事、食堂の空調設備更新及び換気扇設置工事、浄化槽漏水修繕工事が行われました。

指定管理修繕料で、屋外階段タイル補修、浴場排水升詰まり除去、浴槽排水栓補修、浴場給湯用ボイラーラインポンプ更新工事、屋外女子トイレ手洗い場水道管破損修繕を行いました。中でも、浴場ボイラーポンプ更新工事は、突然の故障に伴うものですが、宿泊者にとって欠かせない浴場の使用が不可とならないよう予算全体の調整を行い、指定管理者として緊急対応を図ったものです。

② その他

宮野運動公園管理事務所職員の協力を得つつ、施設周辺の草刈り、除草剤散布を行いました。

(3) 運営状況

① 自主事業等

高校野球県外実力校の合宿を誘致し、8月17～19日にかけては宮野野球場において練習試合を実施するなど、2校(2泊、延べ56人)の宿泊実績を残しました。

② 広報活動

公社ホームページを活用してPRに努めたほか、他県のスポーツ関連団体に出向いて直接宣伝にあたるなど、当施設館長の人脈を活かした誘致活動を行いました。

(4) 課題

① 施設の老朽化に対する適切な維持管理

② 当施設の団体宿泊利用と野球場等公園内施設の一体的利用促進による相乗効果への取り組み

③ 団体利用誘致にあたっての重要事項である食事提供の対応

④ 男女が参加する大人数団体への受入れ体制の整備(男女別休憩及び就寝場所の確保)

7. 黒部市宇奈月温泉スキー場

(1) 利用状況

	令和4年度	令和3年度	平成2年度
営業日数	31日	52日	52日
利用者数	5,147人	12,037人	8,568人

(2) 管理運営状況

営業開始にあたり、安全な営業態勢となるよう施設の保守点検を実施し、シーズンを通して安全に利用していただけるよう準備を行いました。今シーズンは、令和4年12月24日にスキー場開き式・安全祈願祭が執り行われたものの、シーズン序盤は積雪に恵まれず、営業を開始したのが年明け後の1月27日にずれ込んだことから、営業日数及び利用者数ともに、前年度を大きく下回る結果となりました。

市においては、当面、スキー場の継続方針を打ち出されていますが、次年度以降の営業にあたっては、施設が適切に稼働するよう保守点検等に万全を期すとともに、何よりも重要な安全面において必要な施設改修の実施方策を真剣に検討していく必要があります。

(3) 利用実績

- ・ 営業期間：令和5年1月27日～令和5年3月12日
- ・ 営業日数：31日間
- ・ 利用人員：5,147人
- ・ 平均利用者数：166人／日
- ・ 受託費：16,697,555円